

ご自宅の水道管の

破裂



凍結

を防ぎましょう！！

注意！

**水道管が
凍りやすくなるのは…**



- 最低気温が −4℃以下 になるとき
- 留守にてしばらく水道を使用しないとき

凍ってしまおうと…

水道が使えない！

水道管の凍結・破裂が多発すると、業者がすぐに対応できない場合があります。

解氷作業や修繕にお金がかかる！

ご家庭の水道管は、お客さまの財産です。
解氷作業や修繕工事はお客さまの費用負担となります。

凍結防止対策

- 屋外の露出管に対して、保温材などをかぶせ、上からビニールテープで巻きつける。
- 長期不在の場合は、メーターボックス内の止水栓を閉める。

※雪が降るとメーターボックスの場所が探しにくくなりますので、事前にボックスの場所を確認しておいてください。

凍結した時の対処方法

- 外気温が上昇し、凍結した部分が解凍されるのを待つ。
- ぬるま湯をかけるときは、蛇口にタオルなどを巻きつけて、ゆっくりかけてください。

※熱湯は絶対かけないでください！
管の破損につながります。

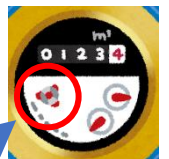


解凍後は水漏れ点検

- 自宅や別棟の水洗箇所
- 給湯器本体、周辺配管
- 水道メーター

水を使用していないときに回っていたら、水漏れの疑いがあります。

⇒業者に依頼し、修理をお願いします。



裏面もご確認ください。

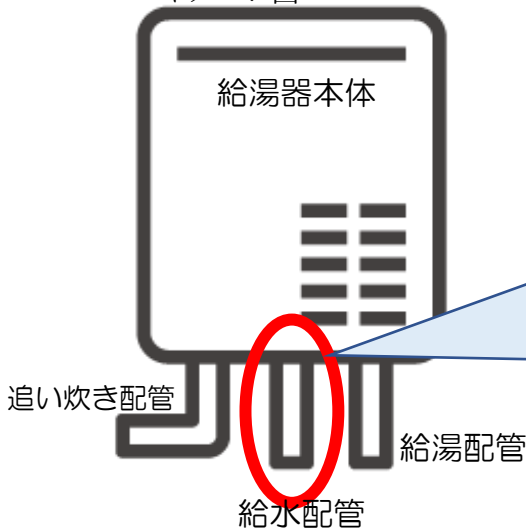
鳥取県では非常に強い寒波が発生します。
南部町のご家庭でも凍結による断水や破損に伴う漏水が多発！

凍結被害を受けたご家庭のほとんどが、

給湯設備の凍結・破損が原因でした。



イメージ図



●給水配管(水道管)部分

最も凍結が多い配管。

水が通るので、外気温の影響を受けやすく、水温が下がりやすいため、凍結しやすい。

本体と給水配管が接続している部分は金属製のため、凍結することが多い。

給湯器 凍結防止対策

●凍結予防ヒーター

外気温が下がると自動的に給湯器内の配管を保温するヒーターが作動し、凍結を防止します。

●浴槽内 自動ポンプ運転

給湯器と浴槽を循環させる追い炊き配管の凍結を防止します。

《※注意》 どちらも水道配管部分の凍結には効果ありません。

●水抜き

しばらく給湯器を使わない場合は、給湯器内部の水を抜くことで本体、配管の凍結を防止します。

⇒凍結による水漏れは事前の対策をすることで防ぐことができます。

給湯設備は、年式、メーカーにより操作方法や仕様が異なります。

取扱説明書や設置事業者にてご確認ください。

南部町 建設課 上下水道室

TEL:66-4807/FAX:66-4426